



Banco de Tokyo-Mitsubishi UFJ Brasil S/A

Treasury Department
Av. Paulista, 1274 – Bela Vista
São Paulo, SP – 01310-925

1. マーケット・レート

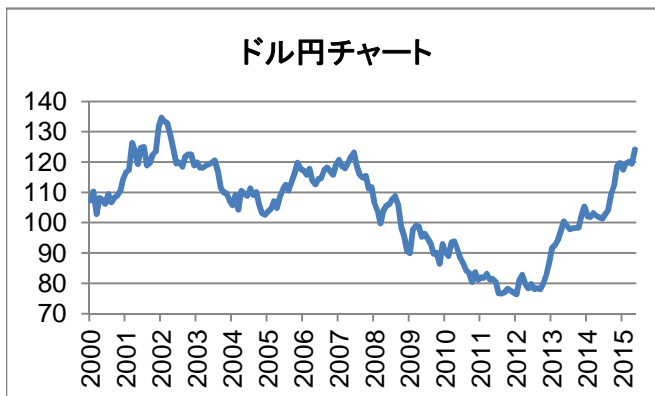
			5月25日	5月26日	5月27日	5月28日	5月29日	Net Chg
為替	USD/BRL	Spot	3.0970	3.1530	3.1390	3.1620	3.1780	+0.0160
	BRL/JPY	Spot	39.24	39.05	39.38	39.19	39.06	-0.13
	EUR/USD	Spot	1.0977	1.0875	1.0904	1.0955	1.0986	+0.0031
	USD/JPY	Spot	121.57	123.13	123.66	123.93	124.14	+0.21
金利	Brazil DI	6MTH(p.a.)	13.74	13.74	13.77	13.83	13.83	+0.0004
	Future	1Year(p.a.)	13.67	13.67	13.72	13.76	13.77	+0.0154
	On-shore	6MTH(p.a.)	1.653	1.618	1.549	1.381	1.284	-0.097
	USD	1Year(p.a.)	2.295	2.251	2.130	1.967	1.896	-0.071
株式	Bovespa指数		54,609.25	53,629.78	54,236.25	53,480.98	52,760.48	-720.50
CDS	CDS Brazil 5y		222.26	233.00	230.00	232.74	237.51	+4.76
商品	CRB指数		休場	221.723	220.185	222.844	223.175	+0.331

* これらはインターバンク市場等におけるブラジル市場終了時のインディケーションです。実際のレート提示は弊行担当アカウント・オフィサーまでお問い合わせ下さい。

2. 週間市況、トピックス

- 今週のレアルは3.0930で寄り付き、オープン直後に週間高値となる3.0900をつけた。週末にレヴィー伯財務相は年内のブラジル景気回復を予想していないと報道されたことを受けて、レアルは一気に3.13台まで売られた。その後は原油高を受けて3.09台まで反発する場面も見られたが、強い米経済指標を受けてドル全面高となると、レアルは反落。更にルーラ前大統領がレヴィー財務相の更迭を支持しているとの報道を受けて、レアルは3.15台まで下落した。
- 中銀によるアナリスト予想集計では、2015年の経済成長率予想が-1.2%から-1.24%へ下方修正され、インフレ率は8.31%から8.37%に上方修正された。先週据え置きとなっていた経済成長率予想は、今回は再び下方修正された。インフレ率予想は6週連続の上方修正。今回の調査では2015年末の政策金利予想が13.50から13.75%に引き上げられ、市場参加者のインフレ懸念が収まっていないことが示された。
- 週央は良好な米経済指標を受けてドル全面高の相場が続ぎ、レアルは3.18台まで続落した。しかし、ギリシャ支援の合意が近いとの観測が高まりリスク回避ムードが一服したことや、バルボーザ伯企画相がレヴィー財務相を支持するとコメントしたことを受けて財政調整の進展するとの期待が高まったことを受けて、レアルは3.13台まで反発した。
- 週末にかけてはブラジルと米国のGDPが発表されたが、いずれも前期比マイナスながら予想よりも強かった。伯GDPは個人消費が前期から急低下したが、農業部門と輸出の回復で全体としては予想ほど悪化しなかった。予想ほど経済が悪くなかったため、インフレ抑制を優先して、中銀が来週のCOPOMでの利上げすると予想する声が増えた。中銀が為替介入プログラムで7月初日曜日のドルショートポジションを20億ドル程度ロールしないことが確定すると、中銀公表レート決定に向けてドル買いレアル売りが強まり、レアルは週間安値となる3.1940を示現。結局3.1780で越週した。

3. 今週のチャート&ハイライト



出所: Bloomberg

ドル円は2002年6月以来、約13年ぶりの水準を示現

ドル円は28日に2007年の高値を突破し124.46を示現した。この水準は2002年6月以来、約13年ぶりの水準となる。先週のイエレンFRB議長の公演でデータ次第での年内利上げが示唆されて以降、米国経済指標は予想より強い数字が連続して発表された。これを受けて今週のドルはほぼ全面高の展開となった。今週行われたG7会合では、為替の議論は出なかった模様で、ドル円についてはもう一段上値を伺うとの見方も多い。

当資料は一般的な情報提供のみを目的として作成されたものであり、特定のお客様のニーズ、財務状況又は投資対象に対応することを意図しておりません。また、当資料は、適用法令上許容される範囲内でのみ利用可能であり、当資料の頒布を制約する法令が存在する地域の方によって利用されることを意図しておりません。当資料内のいかなる情報又は意見も、預金、有価証券、デリバティブ取引その他の金融商品の売買、投資、保有などを勧誘又は推奨するものではありません。資料は信頼できるとされる情報に基づいて作成されていますが、当行はその正確性、適時性、適切性又は完全性を表明又は保証するものではなく、当行、その子会社又は関連会社は、お客様による当資料の利用等によって生じうるいかなる損害についても責任を負いません。ご利用に関しては、すべてお客様御自身でご判断下さいませ。また、過去の結果が必ずしも将来の結果を暗示するものではありません。当資料の内容は予告なしに変更することがあり、また、当行、その子会社又は関連会社は、当資料を更新する義務を負っておりません。また、当資料は 著作物であり、著作権法により保護されています。当行の書面による許可なく複製又は第三者、個人顧客もしくは一般投資家への配布をすることはできません。



Banco de Tokyo-Mitsubishi UFJ Brasil S/A

Treasury Department
Av. Paulista, 1274 – Bela Vista

4.来週の為替市場注目点

予想ドル・レアル相場レンジ：3.10－3.25

来週は重要なイベントが多い。水曜日にはCOPOMがあるが、インフレ率が高止まっていることから市場では0.5%の利上げを予想する声が多数を占めている。予想通りの利上げ幅ならリーマンショック後で最も政策金利が高かった水準に並ぶことになり、インフレ抑制効果以上に経済活動への悪影響を懸念する声も多い。最近の傾向として、利上げは高金利通貨としてのレアル買いには繋がらないため、利上げをしてもレアル軟調の傾向は止まらないだろう。また、中銀は来月の介入ポジションのペースを発表したが、途中で変更がなければ17億ドル程度をロールしない構え。このスタンスもレアル売りの材料として意識されるだろう。

週後半は木曜日が伯祝日となることから、市場参加者の少ない中で荒い値動きが予想される。しかも、金曜日には重要指標である米国雇用統計の発表があり、予想外の数値であればいずれの方向であっても強く反応するだろう。現時点の予想では前月と同程度の高い水準が維持されると予想されている。この所、予想よりも米国経済指標が強く、FRBの利上げ期待が高まっている。当面はドル堅調の地合いが続くそう。一方、IMFへの返済期日が6月5日に迫っているギリシャへの懸念から新興国通貨は売られやすいだろう。レアルは引き続き安値を伺う展開が続くと予想する。

5.本日の主要経済指標

国	イベント	予想	実績	前回
ブラジル	GDP(前期比)	-0.5%	-0.2%	0.3%
ブラジル	GDP(前年比)	-1.8%	-1.6%	-0.2%
ブラジル	純債務対GDP比	33.4%	33.8%	33.1%
ブラジル	Nominal Budget Balance	5.0B	11.2B	-69.2B
ブラジル	基礎的財政収支	12.5B	13.4B	0.2B
米	GDP(年率/前期比)	-0.9%	-0.7%	0.2%
米	シカゴ 購買部協会景気指数	53.0	46.2	52.3
米	ミシガン大学消費者マインド	89.5	90.7	88.6

6.来週発表される主要経済指標

国	日付	イベント	期間	予想	前回
ブラジル	6/1	FGV CPI IPC-S	May-31	0.70%	0.68%
ブラジル	6/1	HSBCブラジル製造業PMI	May	--	46
ブラジル	6/1	貿易収支(月次)	May	\$2400M	\$491M
ブラジル	6/1	総輸出	May	\$17100M	\$15156M
ブラジル	6/1	総輸入	May	\$14526M	\$14665M
ブラジル	6/2	FIPE消費者物価指数(月次)	May	0.64%	1.10%
ブラジル	6/2	鉱工業生産(前年比)	Apr	-8.1%	-3.5%
ブラジル	6/2	CNI設備稼働率(季調済)	Apr	--	80.80%
ブラジル	6/3	HSBCブラジルコンポジットPMI	May	--	44.2
ブラジル	6/3	HSBCブラジルサービス業PMI	May	--	44.6
ブラジル	6/3	商品価格指数(前年比)	May	--	6.11%
ブラジル	6/3	SELICレート	Jun-03	13.75%	13.25%
EU	6/3	ECB主要政策金利	Jun-03	0.05%	0.05%
米	6/5	非農業部門雇用者数変化	May	225K	223K
米	6/5	失業率	May	5.4%	5.4%

当資料は一般的な情報提供のみを目的として作成されたものであり、特定のお客様のニーズ、財務状況又は投資対象に対応することを意図しておりません。また、当資料は、適用法令上許容される範囲内でのみ利用可能であり、当資料の頒布を制約する法令が存在する地域の方によって利用されることを意図しておりません。当資料内のいかなる情報又は意見も、預金、有価証券、デリバティブ取引その他の金融商品の売買、投資、保有などを勧誘又は推奨するものではありません。資料は信頼できると思われる情報に基づいて作成されていますが、当行はその正確性、適時性、適切性又は完全性を表明又は保証するものではなく、当行、その子会社又は関連会社は、お客様による当資料の利用等に関して生じうるいかなる損害についても責任を負いません。ご利用に関しては、すべてお客様自身でご判断下さい。また、過去の結果が必ずしも将来の結果を暗示するものではありません。当資料の内容は予告なしに変更することがあり、また、当行、その子会社又は関連会社は、当資料を更新する義務を負っておりません。また、当資料は著作物であり、著作権法により保護されています。当行の書面による許可なく複製又は第三者、個人顧客もしくは一般投資家への配布をすることはできません。